

## 2 就労支援部会

### (1) 平成27年度検討事項と結果

#### ア 検討事項

- (ア) 障害者雇用セミナーの開催
- (イ) 障害者就業・生活支援センターの有効活用

#### イ 検討結果

- (ア) セミナーのテーマを障害者への定着支援として開催し、参加企業数は13社、参加者数は16名であった。人数は減少したものの参加企業の満足度は高かった。しかしその後は、事業所側にすぐに企業に繋がられる人がいなかったことや、企業側でもすぐに対応できる状況ではなかったため、就職できた人はいなかった。
- (イ) 障害者就業・生活支援センターや就労移行支援事業所の事業所ごとにどのような機能があるかを具体的に確認し、情報共有を図った。

### (2) 平成28年度検討事項

#### 就労を支援するための施策と課題の検討

#### ア 障害者雇用セミナーの開催

昨年度の開催時には同様のセミナーが集中的に開催されていたために参加者が分散されてしまったという経緯を踏まえ、今年度は平成30年度から法定雇用率の算定に関わることとなった精神障害者の雇用や既に雇用している人が精神疾患にかかった場合の対応など、関心度の高いテーマを選定することで刈谷市のカラーを出していき、他にはないセミナーの開催内容を検討する。

#### イ 就労支援と相談支援の連携体制の構築

就労関係機関と相談支援機関の顔の繋がりがあがることで、本人の特性に合わせた職種に就職でき、離職率の低下に繋がることが考えられる。また、相談支援事業所と障害者就業・生活支援センターの役割分担がまだ不明瞭であることから、障害者就業・生活支援センター、就労移行支援事業所及び相談支援事業所による連絡会などを設けながら事業所間での情報共有を図り、各障害者の障害特性に合わせた支援体制を検討する。